2007.7.1

循環器・呼吸器病センターだより

第３５号

盛暑の候、先生方におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、当センターでは今年度も下記のとおり、「彩の国いきいき健康塾」を開催することといたしました。お近くにお出かけの際は、お立ち寄りいただければ幸いです。
今後とも、御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

病院長　　今井　嘉門

急性大動脈解離”… 最悪の循環器疾患

心臓血管外科副部長　小野口 勝久

病気にはなりたくないものだ … でも、どうしても避けられないのであれば？“狭心症”：最近はカテーテル治療が進歩しており、早期に専門医を受診すれば手術なんぞ受けずに治療することが可能だ！“弁膜症”：これも罹患しないに超したことはないが、心機能が保たれているうちに、優秀な心臓外科医に手術してもらえば（ここが大事なポイントだが …）驚くほど結果は良い！しかしながら“急性大動脈解離”：医学がこれほど進歩した現在でもやはり最悪のシナリオの一つだ。古くは、25 年ほど前に俳優の石原裕次郎さんが、また最近では元ドリフターズの加藤　茶さんが、それぞれ手術から無事生還し元気になった姿でテレビに登場、この急性大動脈解離という病気の啓蒙に大いに貢献して下さっています。25 年経って確かに手術の成績は向上しました。石原裕次郎さんの手術に際しては「3%程度の成功率！」と週刊誌に書かれていたものが、最近の全国統計では手術死亡率が 10%を切るまでになっています。しかしながら病気の重篤度が軽減したわけでは有りません。20 年前に当時の慶應義塾大学教授・井上　正先生がまとめられた文部省班会議の集計結果（集計のお手伝いに駆り出されましたが）では、Stanford　A 型（B 型）非手術症例の発症 1 年後の生存率は A 型：53%　(B 型：90%)に過ぎないとのこと … 手術をしなければこの結果は今日でも同じです。な～んだ … B 型なら手術しなくても大丈夫なんだ！と安易に考えるのは禁物、「大動脈解離の 78%は A 型」とする DeBakey 先生の報告（エリツィン大統領のバイパス手術執刀医としても有名）も有りますので …『すわ、解離の急患！』とくれば先ず緊急手術のイメージが我々の頭をよぎります。最近ではマルファン症候群ではない若年者にも見られるこの恐ろしい病気、患者さんの多くは“肥満・独身男性”という共通因子を持っており、やはりここでもメタボリック症候群が病気の発症に大きく関与しているのは間違いなさそうです。

～ 彩の国いきいき健康塾開催のお知らせ ～

１　開催日時及び会場

①平成19年7月14日（土）13：00～16：30　・・・　八木橋百貨店（熊谷市）
②平成19年9月 9日（日）13：00～16：30　・・・　東松山市中央公民館（東松山市）

２　開催内容

当センターの医師及び医療従事者による講演のほかに、看護師、臨床検査技師、薬剤師、栄養士等による相談コーナ、ＡＥＤ体験コーナーを行います。